

2-7 画像情報を含むスライドの作成

前節で、文字情報を望む形ですべて書き込みました。次のステップとして、この節では画像情報を挿入し、より視聴覚に訴えるスライドを作成します。もちろん、状況によっては文字のみのプレゼンテーションが最も効果的な場合もありますが、PowerPoint はマルチメディア情報に動きを加えたスライドショーを実施できるソフトであり、ここではそのためのスキル獲得を目的としているので、なるべく多くの可能性を追求していきます。

2-7-1 クリップアートの挿入

ここまでは、タイトルレイアウトと箇条書きレイアウトのみを使ってきましたが、画像を挿入するにはレイアウトを変更する必要があります。まず、標準表示でアウトラインペインのタブを「スライド」に戻しておきましょう。そして、2 枚目の目次のスライドをクリックして表示させ、以下のように操作してください。

- ①メインメニューで「ホーム」→「スライド」→「Office テーマ」と選択する
- ②現れたスライドのレイアウト群からテキストとコンテンツのレイアウトの「タイトル、テキスト、コンテンツ」にフォーカスし、クリックして選択する

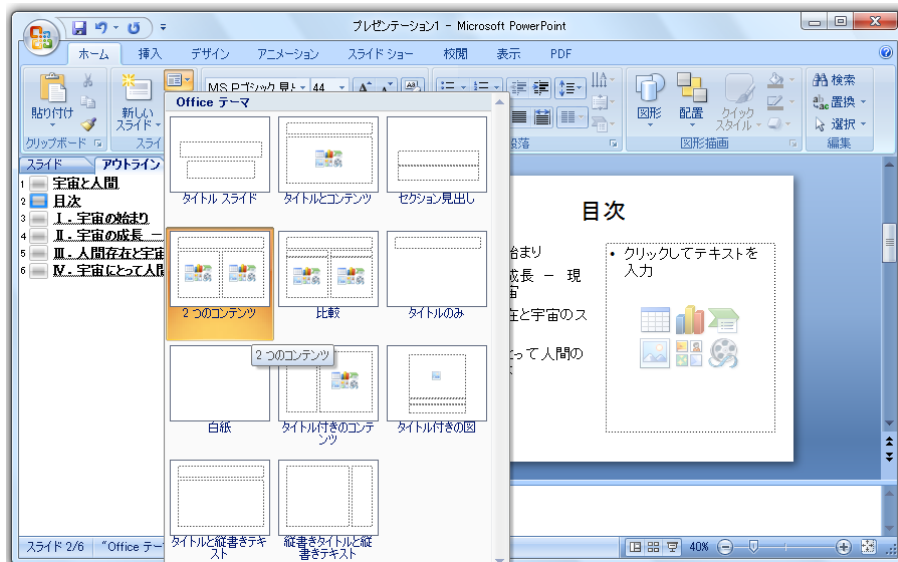


図 2-9 テキストとコンテンツのレイアウト

- ③6 個あるコンテンツのアイコンにフォーカスすると、クリップアート、グラフ、表、図、図表または組織図、Media クリップが挿入可能であることがわかります。クリップアートを選びクリックすると、クリップアートの一覧表が現れるので、その中から「スペースシャトル」をクリックして選び、「OK」もクリックします。
- ④最後に、テキストのプレースホルダやクリップアートの大きさや形を調整します。まず、クリップアートをクリックした後、上下左右四隅のハンドルをドラッグして形を整え、クリップアートそのものをドラッグして適切な位置に移動させます。そして、テキストをクリックしてプレースホルダを表示させ、同様に形を整えます。箇条書きがなるべく 1 行になるように、左右を広げ上下を縮めるとよいでしょう。さらに、プレースホルダの枠をドラッグして適切な位置まで移動させます。下図のようになればよいでしょう。

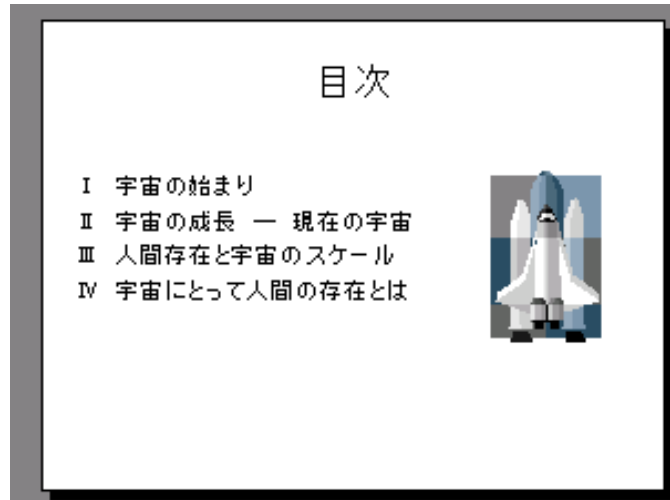


図 2-10 クリップアートの挿入

2-7-2 図の挿入

次に図を挿入します。その準備として、まず担当教員の提示用フォルダから右図の画像ファイルをコピーしておいて下さい。拡張子 jpeg (jpg) と gif は画像ファイルを表しており、データ圧縮の度合いが異なるものです。前者は写真などに用いられ、後者はイラストなどに利用されます。

それではスライド 3 「I 宇宙の始まり」を選択して、クリップアートのときと同様にテキストとコンテンツのレイアウトから適切なレイアウトを選択してこのスライドだけに適用します。そして、

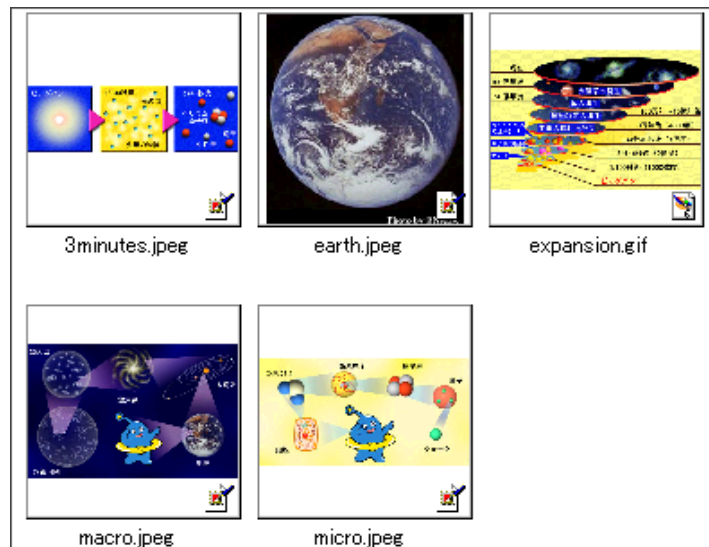
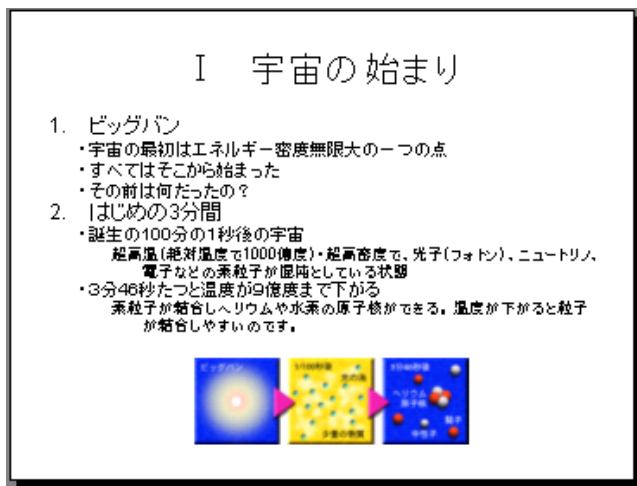


図 2-11 画像ファイル



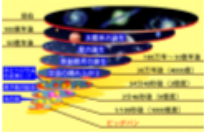
図のアイコンをクリックすると、図の挿入のためにファイルを参照するダイアログボックスが出てくるので、適切な「ファイルの場所」を選び、コピーしておいたファイルの中から「3minutes.jpeg」をクリックして、「挿入」もクリックします。最後にプレースホルダと図の大きさや位置を調整し、左図のようになります。

図 2-12 図の挿入 (1)

では、同様にして残りのスライドにも図を挿入していきます。以下のようなスライドを作成してください。

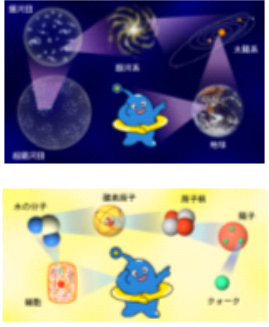
Ⅱ 宇宙の成長 — 現在の宇宙

1. 銀河形成から現在へ
 - ・長い時間をかけて宇宙が冷え、銀河のもととなるガスが誕生
 - ・原始銀河の誕生
 - ・星の誕生
 - ・太陽系の誕生
 - ・現在まで約150億年が経過。1000億以上の銀河が存在。
2. 時間的成長過程
 - ・図のようになります。




Ⅲ 人間存在と宇宙のスケール

1. 地球の誕生と人間の歴史
 - ・地球ができたのは46億年前
 - ・人類が誕生したのは3万年前
 - ・地球の歴史を1週間とすると、宇宙は3週間で人類は2〜3秒
2. 広大な宇宙
 - ・地球<太陽系<銀河系<銀河団<超銀河団
 - ・宇宙の広さはわからない、少なくとも10億光年以上
3. ミクロの世界
 - ・人間>細胞>分子>原子>原子核>クォーク



Ⅳ 宇宙にとって人間の存在とは

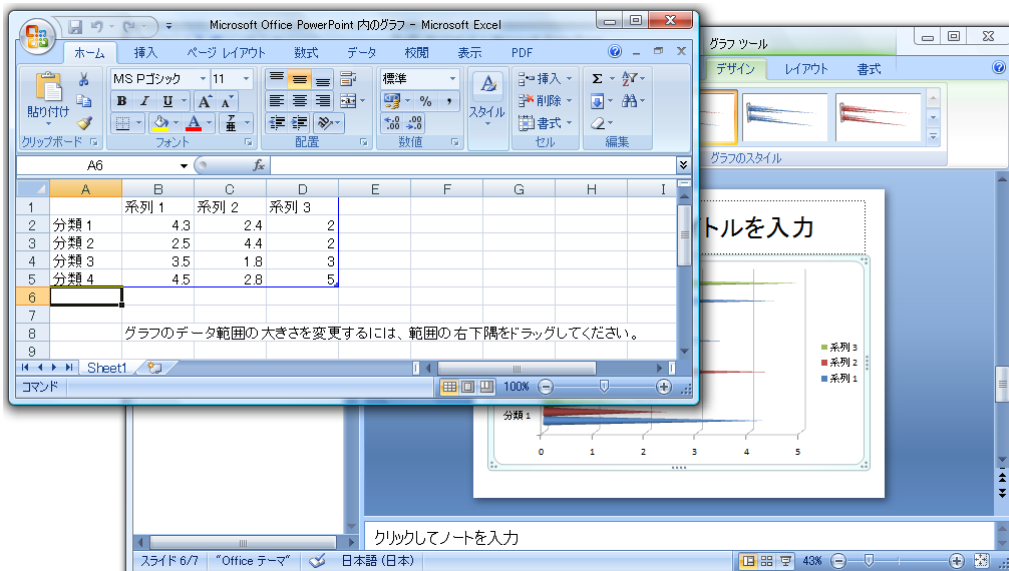
1. 地球は美しい
 - ・太陽系の中で液体の水があるのは地球だけ
 - ・だからブルーの惑星
2. 地球と人間は特別な存在か
 - ・太陽系で生物が存在しているのは地球だけ
 - ・しかし、太陽系のような惑星システムはいくらでも存在しえる
 - ・地球と同じような惑星も人間のような宇宙人も存在しても不思議ではない
3. 人間よ！ 謙虚であれ！
 - ・だから人間は特別じゃない
 - ・宇宙から見ればちっぽけな存在
 - ・私たちは自然に対して謙虚になり、自然に生かされていることを知ろう



左のスライドでは、テキストのプレースホルダを元のように広げ、図と重なるように配置してあります。このように、オブジェクトは重なっても問題ありません。

図 2-13 図の挿入 (2)

2-7-3 グラフの挿入



	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1		系列 1	系列 2	系列 3					
2	分類 1	4.3	2.4	2					
3	分類 2	2.5	4.4	2					
4	分類 3	3.5	1.8	3					
5	分類 4	4.5	2.8	5					

図 2-14 グラフの挿入

5 枚目と 6 枚目のスライドの間に 1 枚新しいスライドを挿入して、それにグラフを載せることに

しましょう。まず、標準表示のスライドタブがクリックされた状態で5枚目のスライドをクリックします。そして、メインメニューで「ホーム」→「新しいスライド」と選択し、コンテンツのレイアウトから「タイトルとコンテンツ」を選んで新しいスライドに適用します。これで、新しいスライドが望む位置に望むレイアウトで挿入されました。ちなみに、スライドの消去は簡単で、スライドを選んで「Delete」キーを押すだけで消えます。

それでは、新しいスライドのタイトルに「宇宙、地球、人間の歴史」および「時間の比較」を2行に分けて入力しましょう。そして、コンテンツの中から円錐グラフを選択しすると、図 2-14 のような画面が現れます。これを以下のように変更しましょう。操作はエクセルと同じです。まず、必要ない列を削除して、セルの内容を下図のように変更します。注意してほしいのは、セルのデータを消すだけでは不十分で、列そのものを削除する必要があることです。自分で確認してください。

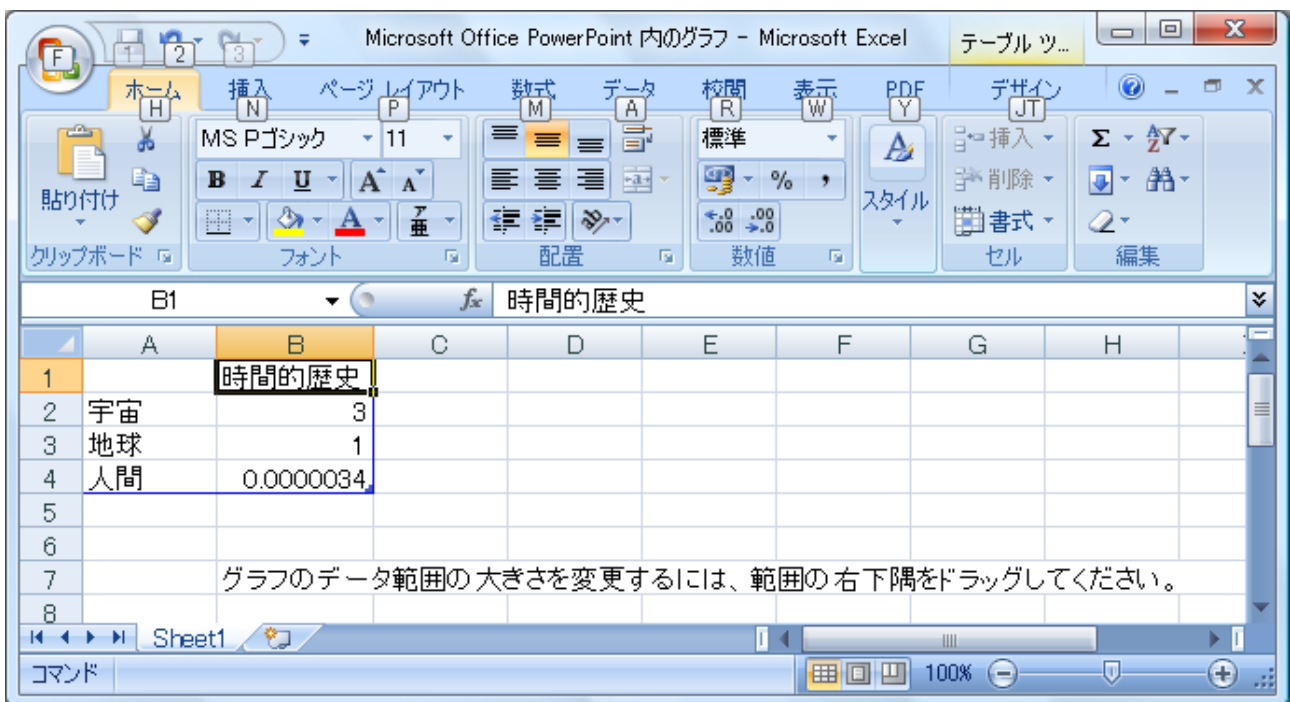


図 2-15 表の作成



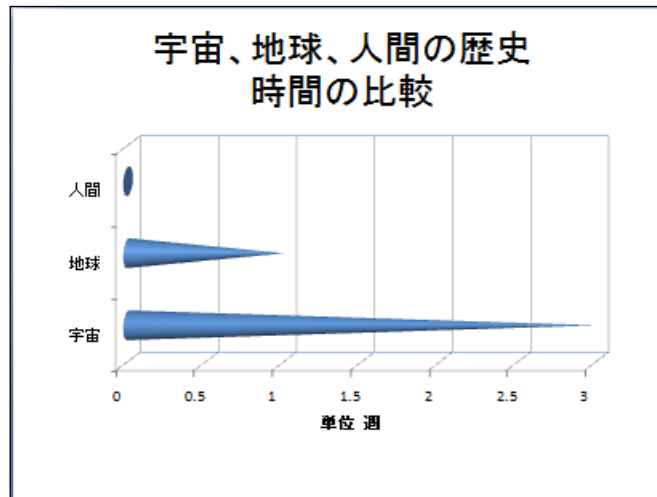


図 2-16 グラフの完成

次に、グラフエリアをダブルクリックして編集状態とし、そこでツールバーに現れる「グラフツール」→「レイアウト」から、データ系列の変更、軸ラベルの挿入などを行い、スライドを図 2-16 のように変更しましょう。情報処理演習 I で学んだエクセルの手法を思い出してください。なお、このグラフを直接的に挿入する方法は、実はエクセルより限られた操作しか可能でないので、実際にエクセルでグラフを作成してからコピーするほうがはるかにベターです。この方法は、次週で学ぶことにします。ここで、人間の時間的歴史は地球や宇宙のそれに比べれば 0 に等しいことを思い知りましょう。

【練習 2】 白紙のレイアウトからのスライド作成

ここまで、スライドはすべて何らかの具体的なレイアウトを選んで作成してきました。すでに存在するレイアウトを利用すると便利ですが、慣れてくると白紙からまったく自由に作成したいというときもあります。そこで、最後に新しいスライドを挿入して白紙のレイアウトを選択し、メインメニューの「挿入」→「テキストボックス」と選び、テキストボックスをドラッグして適当な大きさにし、テキストを入力してみましょう。また同様にして、テキストボックスの代わりに図やグラフなども挿入して試してみましょう。

【練習 3】 スライド上での作図

PowerPoint でもワードと同じ図形描画が可能です。練習 2 で作成したスライドを使って、その上に図形を描いてみてください。特に、タイトルなどを巻紙で囲って、テキストと図形の順序を入れ替えれば、巻紙上にタイトルが書かれているように見せることもできます。